

令和5年6月6日

事業評価書（事後評価）要旨

○ 政策評価の対象とした政策

インターネットによる古典籍の紹介（事業評価）

○ 政策の目的

書陵部において収蔵する諸資料（古典籍）の目録をデータベース化し、画像情報と共に宮内庁ホームページを通じて広く国民に紹介することにより、利用者の利便性の向上を図る。

○ 政策評価の結果の概要

（必要性）

書陵部所蔵資料目録・画像公開システムへのアクセス件数を見てみると、当初の平成25年以降増加傾向が続き、とりわけ直近の3か年においては連続して過去最高件数を更新し、令和4年度のアクセス件数は約525万件となっている。

以上より、本事業は、その目的に照らして、必要性の高いものであったといえる。

（有効性）

アンケート調査の結果によると、「使いかた・見かたのわかりやすさ」について、「とてもわかりやすい」・「わかりやすい」との回答がトップページ及び検索ページについて約6割、ギャラリーについても好意的な評価が約7割であった。

また、学識経験者の意見においても、高い評価をいただくとともに、更なる充実への要望もいただいた。

以上より、本事業は、その目的に照らして、有効性の高いものであるといえる。

（効率性）

書陵部所蔵資料目録・画像公開システムの賃貸借及び保守の契約に当たっては、一般競争入札を実施し、経費の節減を図った。

また、画像公開に当たり、既に他機関で画像が公開されている古典籍に関しては、当該他機関の了承を得て、そのURLにリンクを貼ることにより、コストをかけずに画像の公開を実施している。

画像を2か月に1回数点ずつ紹介する「ギャラリー」の更新についても、職員が作成・公開作業を行い、新たな経費をかけることなく実施している。

以上より、本事業は、その目的に照らして、効率性の高いものであるといえる。

（今後の課題）

アンケート調査の結果においても、また、学識経験者の意見においても、更なる画像公開などのコンテンツの充実に対する要望があったことから、公開画像を増やしていくなどの充実を図っていくことといたしたい。

また、アンケート調査の結果における、ユニバーサルデザインに沿ったページのデザインや書誌情報の追加などの要望については、将来的にシステムを改善することを含め、今後検討していくことといたしたい。